

依存症医療研修 (アルコール依存)

日時：令和8年1月18日(日) 10:00~17:00

会場：大阪精神医療センター (枚方市宮之阪3丁目16-21)

対象：大阪府内の医療機関職員等

定員：100名

大阪府医師会
生涯研修システム
申請予定

依存症の治療拠点機関どころか専門医療機関の看板も掲げていない、ごく普通の、街の診療所で、様々なアディクションとともに生きる人たちと出会ってきました。その間、あちこちからこんな言葉をかけられてきました。「アルコールならいいけど、薬物はイヤだね」「市販薬・処方薬はともかく、違法薬物はけしからん」「犯罪者にはかかわりたくないなあ・病気だなんて、都合の良い言い訳でしょう…」

「良い」病気/クライアント、とか「悪い」病気/クライアントって、いったい誰が、何の基準で決めているのでしょうか？それって誰の、何のため？その人の「ありのまま」を見失うレッテル貼りからひと休み、力を抜いて一緒に揺らいでみませんか。

講師 北陸HIV情報センター **西念 奈津江 氏**

講義「『ありのまま』とともに揺らごう」



ソーシャルワーカー (精神保健福祉士、公認心理師)
北九州大学 (現 北九州市立大学) 法学部行政学科卒業
金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士前期課程 地域創造学専攻修了
(修士 地域創造学)

金沢市出身。
大学時代、北九州ダルク設立に携わったことを機にアディクション・依存症に関心を持つ。
精神保健福祉士資格を取得し、精神科病院、精神科診療所に勤務 (~2020年)。
精神科スーパー救急病棟、長期入院者の退院・地域生活支援、依存症プログラム、
生きづらさを抱えながら生きる女性プログラム等の立ち上げ、運営に従事。
2022年~ 北陸HIV情報センター勤務



申し込み

下記WEBサイトまたはQRコードのリンク先の応募フォームに必要な事項を入力の上、お申込みください。

[WEBサイト]

<https://pmc.opho.jp/news/medical/202601180.html>

[申込み締切] 令和8年1月4日(日) 17時

なお、定員に達し次第、締め切らせていただきます。(定員100名)





- 9:30 開場
 10:00 開演
 10:05 「大阪精神医療センターでのアルコール依存症治療の取り組み」の紹介
 10:20 講義①「『ありのまま』とともに揺らごう」
 講師 北陸HIV情報センター 西念 奈津江 氏
 12:00 昼休憩
 13:00 「当事者・家族の体験談から学ぶ」
 14:00 講義②「『問題解決しない事例検討会』の理念と方法 ーわたしたちは何を指すのかー」
 講師 北陸HIV情報センター 西念 奈津江 氏
 15:00 ワークショップ「問題解決しない事例検討会」
 17:00 閉会

修了証書について

- 当研修の修了証書は、依存症専門医療機関の選定基準の一つである、厚生労働省の「依存症対策総合支援事業実施要綱」で定める「依存症医療研修」の受講を証明するものであり、永年有効です。
- そのため、複数回研修にご参加された場合でも、修了証書は一枚のみの交付となります。
- 医師または医療機関・医療法人に勤務する医療従事者（看護師、心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、保健師、作業療法士、薬剤師等の専門職）の方でご希望の場合は、修了証書を交付いたします。
- 研修当日、10分以上の遅刻や早退、途中退室があった場合は、修了証書を交付できないことがありますのでご注意ください。
- 修了証書交付については、研修会終了後に事務局のご案内いたします。
 ※ 詳しい依存症専門医療機関の選定要件については、下記をご覧ください。
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100040/chikikansen/izonshou/index.html>

アクセス

◇京阪本線「枚方市駅」下車（①または②）

①バス 「枚方市駅」

南口バスターミナル1番のりばからバスに乗車約7分
 「中宮」下車すぐ

②徒歩 約20分

◇京阪交野線「宮之阪駅」下車 徒歩約8分



問合せ先

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 事務局 山ノ内
 TEL: 072-847-3261(代) Eメール: izn_opmc@opho.jp

※本研修は、厚生労働省の『依存症対策総合支援事業実施要綱』で定める「依存症医療研修」です。
 ※本研修は大阪府、大阪市、堺市の共同事業であり、大阪精神医療センターが委託を受け実施します。